

磐城時報

九夕
日刊
編輯人 岡田 弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
電話 一四七四
廣告料 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
代金 郵費在內
A 日刊 (日曜、祭日) 休刊

磐中盟休事件で

同窓會員奔走

現在では平穩に歸す

磐城中學校生徒の橋本新校長排裁培することになり、縣道から果不慮計期はその後學校當局、樹園までは貨物自動車自由平署當局で未然に緩和策を講じ、運轉出来るやう幅二間半の産業た結果問題が表面化するまでの道路を開鑿、この工事は村内進展を見ずに目下平穩だが、同の失業者を採用する外に地元の校卒業の同窓會では六日幹部會上好間、北好間二大字民が義務を開き善後策を協議万一期際は人夫として出動し二ヶ年繼續事學校當局と生徒側の調停に乗業として完成させることになつり出すことになつた。

少年消防組

けふ發會式

平第一小學校少年消防組の發會式は九日午前十時から同校三室で舉行したが、井上平消防組頭臨席し組員二百餘名に訓示をなした後平消防組で寄贈した旗並に徽章を交付した。

石城民政黨

院外團發會

石城民政黨では比佐代議士後援の目的で院外團を組織し九日午後一時から南町俱樂部樓上で發會式を舉げたが、比佐代議士等臨席した。

産業道路開鑿

石城郡好間村では地元産業の増進策として田代原野地原野二湯本の兩町では需要者中に毎月種余興等あり非常の入出に大賑百餘町歩を開鑿して果樹を共同二百名の滞納者があるがこのうを呈した。

消防出初式

六日に繰延べ

縣保安課では来る正月六日を期して縣下一齊に大々的の火防デレを行ふことに決定、各署に通牒を發したが、平署の恒例の出初式は四日に行はれることになつてゐるが、これを六日に繰延べ舉行することに決定した、尙同署では管内の消防組頭會議を廿日頃召集防火デー當日の催し計劃等に就き協議する筈である

奨學田設置

相馬郡

福田小學校同窓會では同村小學校に四十二ヶ年間教職にあつた荒善治翁のため奨學田を設置すべく協議中である。

故意に電燈料を納めぬ

二十八戸を断線

二本松並に東部兩會社で

二本松電燈株式會社小名濱出張所が故意に滞納をなす者二十八戸並に東部電力平營業所では過般に對し兩會社では断線處分を行來より未前の決算期を控電燈電力料金の整理の爲め督促員を動員し極力取立てに努め滞納者に對しては斷乎たる處置に出でドシ、送電中止をなす傾向あり恐難の聲を間に高まつて來たの

西宮の祭典

相馬郡

中村町上町の各組合では鎮座西宮神社の祭典たる八、九日の兩日恵比壽講義市を設け各商店共思ひくりに飾り付け露店は路上を埋め飾り燈で夜間を彩り各

一反の收入五圓

石城地方農家の窮狀

石城郡農會で調査

過般全国的に行はれた米製産費調査に關し石城郡農會でも草野村某(特に名を秘す)外二名について調査したが同會の發表によると某の自作農反當り收入は玄米三石平均石十五圓七十錢と見て四十七圓十錢、葉四圓五十九錢、糠糠二十一錢計五十一圓九十錢でこれに對する支出は努力を除き金肥その他四十六圓九十錢、結局五圓の收入ある事となるが、問題なのは五圓の点で、田植から刈上げそれから冬期間の耕作まで完全に一ヶ年を要する努力の報酬としてはあまりに僅少であり假りに田植當時一圓平均の収入を五名も雇入れれば一錢の利益もないと言ふ事なるので同會でも今更農家の窮狀振りに一驚してたが事實今年農家の努力は一個の最品に過ぎない有様である。

茨城縣是製糸が

石城に進出の計劃

郡内某技手を通じ

製糸場買収を依頼

全國縣是製糸の重鎮茨城縣製糸は極めて萎縮してゐる本縣の製糸界に派藩すべくこの程石城郡某所駐在の某製糸技手を通じてそかに派藩の製糸場の買収斡旋方を依頼して來たが右にいつて某技手は本縣の如き數多くの製糸家が枕を並べて討死同様の状態にある時茨城縣是製糸の如き内容の堅實な會社が進出することには吾々關係者として大いに賛成し出來得る限り奔走する事を約したが右について平町片倉製糸株式會社社長野所長は語るに、原因は子供の弄火損害百五十圓。

米検査組合

石城全村に

改正された産米生産検査の普及は石城地方の磐城米が劣等だけに半、四倉、勿來の各穀物検査所が聯合して之が奨励を行つてゐるも容易に徹底せず、昨今に至つてやうやく曙光を見るに至り、石城郡植田、神谷、草野、小川、大浦、磐崎、勿來、錦、川部九ヶ町村では先づして生産組合を組織し既に發會式を舉げては至つたが、來る二十日頃までに郡下全町村に亘つて組織されるものと見られてゐる。

大浦火防督勵

石城郡

大浦村消防組では七日全村に渡り火防督勵をなした。

蒟蒻大暴落

石城郡

山間部の農村は米は殆んど自家用になるため米價は大した影響がないが、同地方の特産物で一年間の經濟を司るこんにくいもが數年前までは一畝二百三十四圓のものが今日では僅に四十七圓に暴落し全く經濟に詰つた農家は飼育中の馬を賣拂つてゐるが、それも一頭が十五六圓に暴落し、一時の急場をしのぐにすぎないで近く救濟方を當局に懇請することになつた。

軟式野球試合

相馬郡

郡内實業チーム軟式野球試合は七日雲雀ヶ原グラウンドに開催した、参加チーム非常に多く各チーム共腕のさえを見せ熱球を飛ばし戦へたるも遂に決勝を見るを得ず第二日曜の十四日再會して決戦する事となつた。

青年講習會

双葉郡

聯合青年團では十一日から四日間縣立相馬農學學校内で中堅青年養成講習會を開く事となり講師は岩崎縣社會教育主事補外同校の先生で受講生約五十名の由同業消息。

科料金未納

四倉縣

十一月三十日迄に於ける科料金の未納者二十九人にして其金額三十六圓であるが、此の不景氣の折とて納金するものなく署内掛員も手古摺つてゐる。

野犬撲殺成績

四倉

警察署管内の野犬撲殺は十二月一日より七日迄に於て行つたが其數左の如し
四倉二頭、大浦九頭、久之濱六頭、大野五頭計四十二頭。

相馬支局通信

小高町の火事

郡小高町西村義雄方物置小屋から六日午前十時半頃火同小屋及馬屋一棟を全焼馬一頭焼死し、原因は子供の弄火損害百五十圓。

温泉出張治療

大日

本神靈道學院に長森長彦師は今般相馬郡原町三島神社側に出張治療所を置き一般患者の療法に當つてゐるが、慢性諸病によく効くとて毎日に患者の數を増し大好評である、該院は在來灸の如く灼熱の苦しみなきのみか何等殘痕を残す事なく老若男女如何なる病人も氣心地よき感戦中に治療し得るものである。

七 五 三 祝 着
御 暮 歲 贈 答 品

ゼヒ ツルヤから!

- 子供服
- オバー
- マント
- 帽子
- 沓下
- 毛糸製品
- 子供靴
- 箱迫
- 等々
- 毛シャツ
- メリヤス
- ワイシャツ
- ネクタイ
- 箱入タオル
- 化粧石鹸半打
- 三十銭
- カクニ石鹸
- 三ヶ入
- 三十銭

ヤルツ

平 町 四 丁 目 電 一 〇 四

ろくまく炎特效薬
秘 方 助 膜 湯

家傳の方劑にして「ろくまく炎」に奇効あり、下熱、鎮痛、消炎、利尿、強壯等の作用顯著にして醫藥併用等に副作用なく、自宅治療劑として最も適當なり。

特約店
平町四丁目 小野薬店 植田町 松本薬店
宇佐美薬店 湯本町 岩瀬薬店
同三丁目 製劑所 茨城縣下孫 衛生堂醫院製劑部

債券、公債、兩替金融

多田井質店
平町大工町 (電話五九一番)

印刷物は

加納活版所へ

胃腸 内科 専門 村松
十二指腸 腸胃病 胃性病
平町南町

梅毒 皮膚病 専門 院
皮膚病 淋病 婦人病
平町南町

鼻の薬「チクノール」
平五 山野邊藥局

御 挨拶

私儀東京朝日新聞社在任中は特別の御厚情に預りた蔭を以て今日まで大過なきを得ました段厚く御禮申し上げます。
今回都合により退社し不日郷里茨城縣に歸省する事になりました、實は一々拜趨の上御禮を言上すべき筈ですが略儀乍ら紙上を以て御挨拶申し上げます。

平町字研町

淺野惠四郎

開店披露

本日ヨリ開店致シマタ、御引立ヲ願フ

雜貨商 澁谷商店
四倉町新町(松の月向ひ)

尚開店披露の爲八日、九日(舊十月十九、二十日)の二日間福引券進呈致します。

耳鼻咽喉科 專

氣管食道科 門

病室完備、自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)
元赤心堂病院跡

安齊外科醫院
電話四七五

油と味の 合

福島縣平町 山崎合名會社

電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

婦人給仕 五名募集

容姿端麗にして 相當教養ある方

年齢二十歳以上三十歳迄素人も可
御希望の方は履歷書持参し午後一時より御來店を乞ふ

平町田町

イワキサロシ
電話三五二番

咳止の 妙薬 オピール錠

藥學博士 丹波敬三先生製藥指導
醫學博士 豊島豊次郎先生動物試驗
特約店 平町一丁目(電話四六二番)
大平屋藥店

度量衡計量器
吸入酸素器

開内藥局
電話四〇番